

12月



☆北区

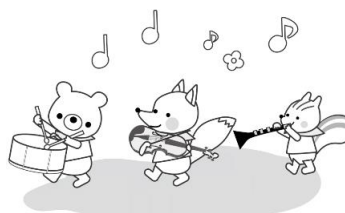
☆ 連合音楽会 ☆

12月1日(木)北とぴあにおいて、北区の連合音楽会が開催されました。滝野川小学校は午後の部のラスト、大トリを飾りました！曲は、音楽会でも練習してきた合唱「ツバメ」と合奏「バック・トゥー・ザ・フューチャー」の2曲です。

学校の体育館とはまた一味違った大ホールに入った瞬間、心が躍りました。

滝野川第二小学校、滝野川第五小学校、西ヶ原小学校の演奏が聴けるのも連合音楽会の楽しみの一つでした♪どれも素敵な演奏ばかりで、それぞれの学校のカラーが出ており、子供たちも感銘を受けたようでした。

そして、いよいよ滝小の出番！スポットライトを浴び、子供たち一人一人の真剣な表情を見ているだけで感動しました。大ホールに響き渡る、心のこもった合唱と大迫力の合奏は本当に素晴らしかったです。練習してきたことを、全て出し切ることができました。3年に1度しかない音楽会で、しかも滝小の代表として連合音楽会に参加するという特別な経験ができ、子供たちの大きな財産になったと思います。



学校に戻ってきて、改めて、心を一つにして頑張った子供たちをほめ、特大クラッカーでお祝いをしました。

社会科「玉川上水」 × NIE

社会科では、玉川兄弟と玉川上水の開発について学習しました。11月に行った社会科見学では、実際に玉川上水の見学もしました。わずか8ヶ月という短期間で、羽村から四谷大木戸までの約43km という長い水路を作った玉川兄弟。工事の工夫やその時の苦悩を学習した後に、明治時代になってから、実は玉川上水の小平より下流は一度止まってしまったことを年表で確認しました。子供たちは「えっ！？あんなに苦勞して作ったのに？」と、驚いていましたが、その後、玉川上水は今も水が流れていることを資料で確認すると、「えっ！？一度止まったのになんで復活させたの？」と、さらに驚いていました。そこで、「なぜ玉川上水は一度止まったのに、今も水が流れているのだろう」という学習問題を作り、清流が復活した時の新聞記事をもとに、みんなで考えました。社会科で学習したこと、当時の新聞記事を通して、玉川上水の昔の役割、そして現在は上水としての役割を終え、史跡としての価値が認められていることや市民の憩いの場となっていることなど、昔と今の役割が変わっていったことについて学ぶことができました。

